

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和7年度富山河川国道事務所河川管理施設監理検討業務
業 務 概 要	河川の状態把握1式、河川の状態把握1式、河川管理施設等の評価案検討1式、堤防点検の実施1式、点検結果評価会議等の運営補助1式、河川管理レポートの作成1式、河川維持管理計画改定（案）の作成1式、庄川根株処理調査1式、元付工調査1式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 北陸地方整備局 富山河川国道事務所長 佐藤 保之 富山県富山市奥田新町2番1号
契 約 年 月 日	令和 7年 3月24日
契 約 業 者 名	令和7年度富山河川国道事務所河川管理施設監理検討業務北陸地域づくり協会・大日本ダイヤコンサルタント設計共同体
契 約 業 者 の 住 所	新潟市江南区亀田工業団地二丁目3番4
契 約 金 額	42,570,000円（税込み）
予 定 価 格	42,636,000円（税込み）
随意契約によることとした理由	<p>業務は、常願寺川、神通川、庄川及び小矢部川の直轄管理区間における維持管理を適切かつ適正に遂行することを目的として、堤防等河川管理施設や河道の点検結果等の状態把握結果をもとに変状等を評価し、変状等が進行する可能性や河川管理に与える影響について検討し、河川が有するべき治水上の機能確保に必要な修繕等を効率的・効果的に実施するための修繕計画等の作成を行うものである。</p> <p>本業務を執行するためには、常願寺川、神通川、庄川及び小矢部川の河道や流域特性等を分析し、既存の堤防詳細点検結果及び施工記録など基礎資料を収集・整理し、新たな評価手法により今後の維持管理を行ううえでの留意事項や修繕計画等の検討を行うといった高度な技術力が求められる業務であり、提出された技術提案に基づいて仕様を作成する方法が最も優れた成果を期待できるため、簡易公募型プロポーザル方式による選定を行った結果、上記業者は、特に、特定テーマにおける的確性の観点から優れており、総合的に最適な提案を行った者と認められるので、特定したものである。</p> <p>よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号の規定により、上記業者と随意契約を締結するものである。</p>
業 務 場 所	富山河川国道事務所管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 7年 3月25日
履 行 期 間 (至)	令和 8年 3月31日
備 考	